

■学習プログラムの概要

1 子どもを地域や社会全体で育てることの意義を理解する【知識】

テーマ	対象	番号・タイトル	時間	ねらい	手法
(1) 子育て世代への理解	見守り	① 子育て新事情 ～前はこうだったけど…～	60	見守り世代が、子育ての方法について話し合い、子育て世代への関わりについて考える。 また、以前と今の子育て事情を比べ、変わったこと、変わらないことがあることに気付くとともに、ワークをとおして、見守り世代が子育て世代にどのように関わっていけばよいかについて学び合う。	ディスカッション
		② え？それってあなたの仕事？	80	家族の形が様々に変化していることに伴い、各家庭における子育ての事情、役割分担などが変化している現状について、見守り世代が話し合いをとおして確認し合う。また、社会全体で子育て家庭を支えていくための課題について考える。	ディスカッション
(2) 親が子育てしやすい地域像	子育て見守り	③ 親こそ支えが必要？ ～今の親の悩みとは～	90	子育てには不安や悩みがつきものである。現在の子育て世代の人たちは、不安や悩みをなかなか解決できない状況であることを知る。 子育て・見守り両世代のコミュニケーションをとおし、子育て世代を支えていく手立てを考えるとともに、地域住民が子育て世代と関わることの必要性を学び合う。	エピソード
		④ ご近所の子どものこと、知っていますか？	80	漫画をきっかけとして、地域の人間関係が希薄化している現状について参加者同士（子育て・見守り世代）が確認し合う。また、両世代の大人が、子育て世代の不安や子育て家庭に関わる意義等について話し合うことをとおして、これから地域の子育てでできることについて考える。	エピソード (4コマ漫画) ディスカッション
(3) 育てたい地域の子ども像	子育て前 子育て見守り	⑤ BEST3を決定!? うちの地域の子どもは、こんな人に育てほしい	80	参加者が地域の子どもに対して「こんな人に育てほしい」をランキング化する活動をとおして、育てたい子ども像のイメージを共有する。さらに、そのイメージに迫るため、日頃の生活をふりかえり、自分たちが地域の大人として、どのように振る舞うべきかをグループで話し合う。	ランキング ラベルワーク

2 子育て家庭支援の基礎となる地域の役割について理解する【技術】

テーマ	対象	番号・タイトル	時間	ねらい	手法
(1) 親を支える地域の役割	見守り	⑥ 地域の子ども、みんなの子ども ～地域でできる子育て世代への支援～	80	見守り世代が自分達の子ども時代にあった地域の行事や人との関わりを振り返りながら地域のもつ役割について改めて考える。 地域の関わりが薄れている現状の中で、どのような行動が子育て支援につながるのかをみんなで考える。	ディスカッション ラベルワーク
		⑦ 今のままでダイジだよ ～子育ての悩み、あなたならどう声かけしますか～	80	「チクチク言葉とわくわく言葉」から言葉のもつ重みを体験するとともに、子育て中の親が抱えている悩みを軽減するためには、周囲の理解ある声かけや行動が必要であることを知る。 事例をもとに、見守り世代としてどんな声かけや行動が子育て世代の不安軽減につながるか考え、それを実演することをとおして、相談者に寄り添う方法を学ぶ。	カードワーク ロールプレイ
(2) 地域の大人ができること	見守り	⑧ 考えてみよう！インターネットとスマホの光と影	60	スマホやタブレットの普及を背景とし、大人も子どももインターネットを利用する機会が増えている。子育て世代の親や子どものスマホの利用状況など、現代的な課題について理解するとともに、そのような課題を抱える親や子どもに対する関心をもち、直接の関わりをもつことの大切さについてみんなで考える。	〇×クイズ ディスカッション
		⑨ ファミレスで ～あなたに関係ないでしょ！～	80	外出先で見かける光景を、エピソードをとおしてみんなで一緒に考えていく。周りの大人のちょっとした気遣いが子育て中の親の支えになることについて知り、相手を不快な思いにさせずに、見守り世代の経験を踏まえながら、自分の伝えたいことを伝える表現（アサーティブ）方法を身につけて、誰もが穏やかに過ごせるような雰囲気づくりを促す。	エピソード ラベルワーク
(3) 目指したい地域の大人像	子育て見守り	⑩ 気になる子どもを見かけたとき、あなたならどうしますか？ I	90	青少年の安全や健康を考えれば深夜の外出はよくない。しかし、様々な事情により夜遅くに外出せざるを得ない青少年がいる。このようなことをエピソードをとおして確認し、深夜に外出する青少年に対して偏った見方が自分の中になかったか振り返り、気になる子どもを見かけたら、大人としてどう関わっていったらよいか、みんなで話をしながら考えていく。	エピソード ラベルワーク
		⑪ 気になる子どもを見かけたとき、あなたならどうしますか？ II	90	日常生活のいろいろな場面で、気になる子どもを見かける機会がある。子どもたちの健全な育成のためにという思いで、勇気を出して声をかけてみたが…。子どもたちの反応は、大人がかける言葉一つで変わってくるものである。このようなことをエピソードを通じて確認し、具体的にどう言葉をかけるとよいかについてみんなで考える。	エピソード ディスカッション

3 子育てや地域活動における課題について考える【行動】

テーマ	対象	番号・タイトル	時間	ねらい	手法
(1) 子育てに優しい地域をつくるために	子育て見守り	⑫わたしの子育てアクションプラン	90	ワークをとおして、子育ての苦労を振り返り、互いに共感し合うことで、子育て中の悩みを軽減することにつなげる。また、「子育て家庭を支える大人」として、活動に踏み出す一歩となるよう、各自で具体的なアクションプランを作成する。	フォトランゲージ アクションプランづくり
		⑬地域ぐるみでみんなで子育て	110	家庭教育支援団体や行政、NPO 団体などの取組事例をもとにして、地域全体で子育てを支援していくにはどのようなことが必要とされているのか、どのようなことができるのかを、子育て世代と見守り世代のそれぞれの立場から考える。地域ですべきことを具体的に考え、最後に簡単な提言や提案としてまとめる。	取組事例の紹介 ラベルワーク
(2) 子どもの豊かな心を育む地域をつくるために	子育て前 子育て見守り	⑭育てたい子どもの「心」大切にしたい大人の関わり	70	子どもは、様々な経験や人とのあたたかな関わりをとおして、「心」を育てていく。子どもたちに育ててほしい「心」は何か、そのために大人はどう関わっていったらよいか、子育て前世代、子育て世代、見守り世代が主体的に話し合いながら考える。	ディスカッション ラベルワーク
(3) 子どもたちにとってかけがえない地域をつくるために	子育て前 子育て見守り	⑮“ふるさと”への想い～世界へ羽ばたく子どもたちへ～	90	自分の住んでいる地域のよいところを話し合うことによって、“ふるさと”のよさを再確認し、子どもたちが誇りに思う地域とはどのような地域かを考える。また、地域の大人として、自分ができることを考える。	エピソード ラベルワーク
		⑯子どもの笑顔・未来を応援し隊	100	子育て前、子育て、見守り世代が、子どもを中心とした地域の子どもと大人、大人同士のかかわりを見直し、大人同士がつながり、地域の子どもたちの笑顔や未来を応援するために、どんなことができるかを考える。一人一人が、今からできること考え、実践につなげていく。	ラベルワーク